

経営比較分析表（令和5年度決算）

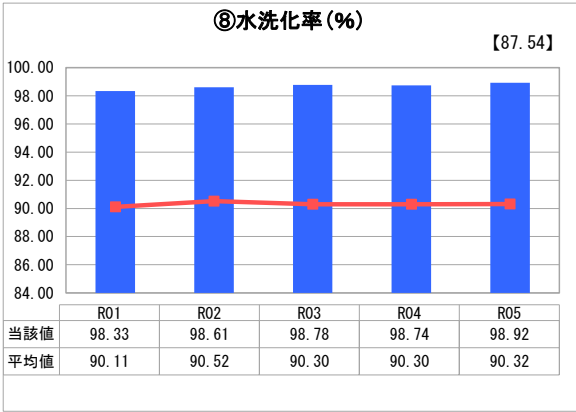
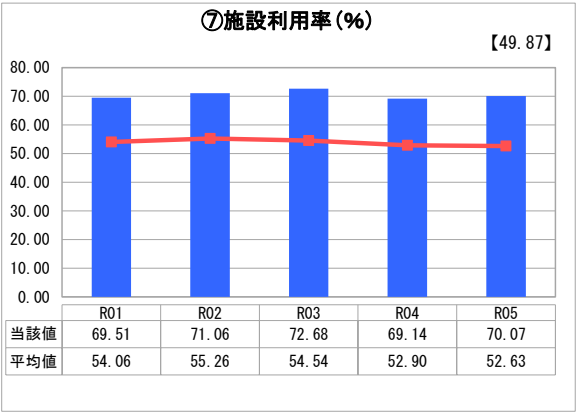
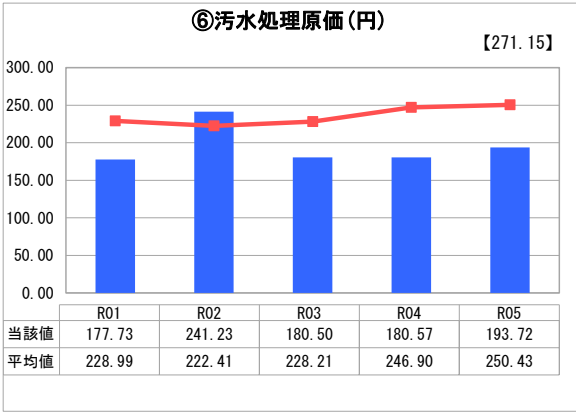
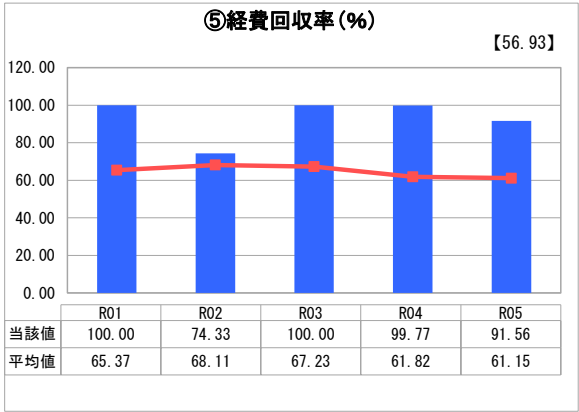
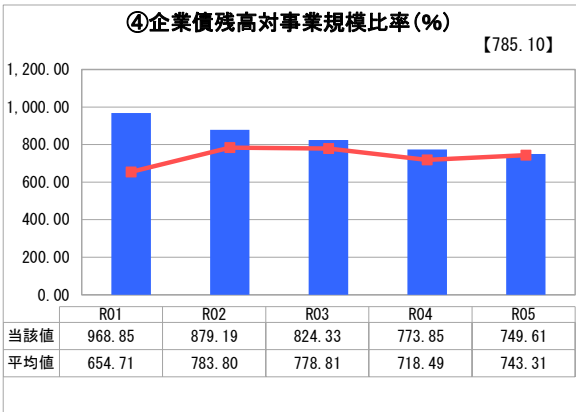
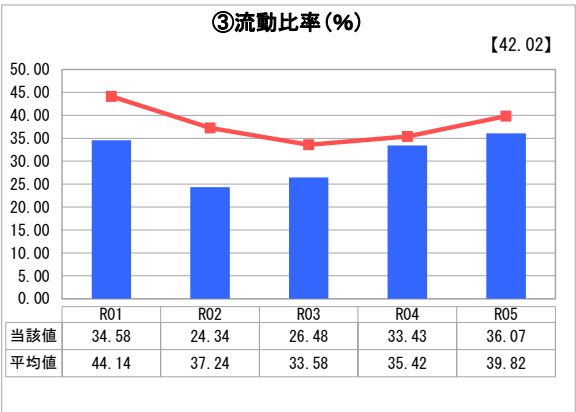
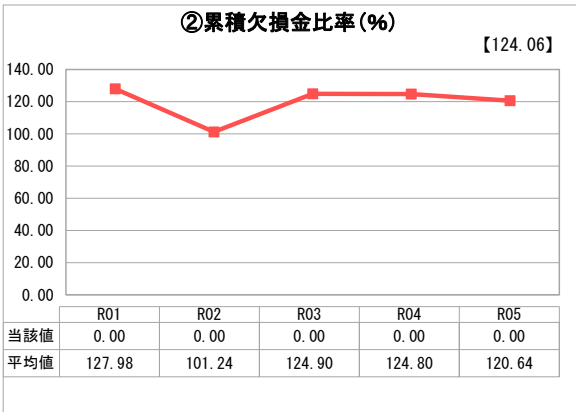
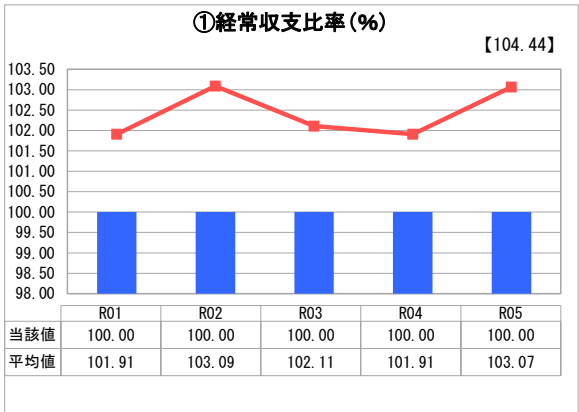
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.02	2.09	73.29	3,476

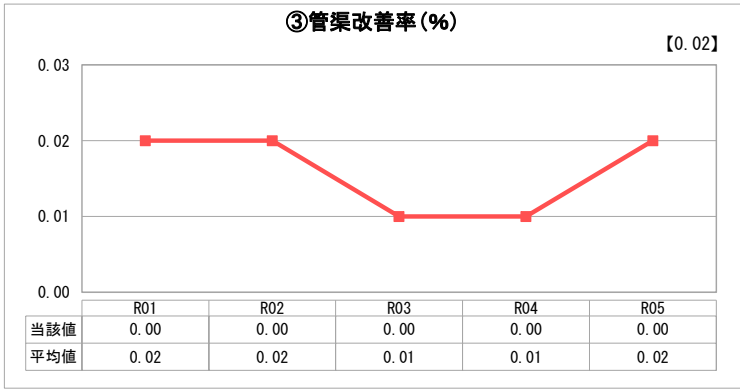
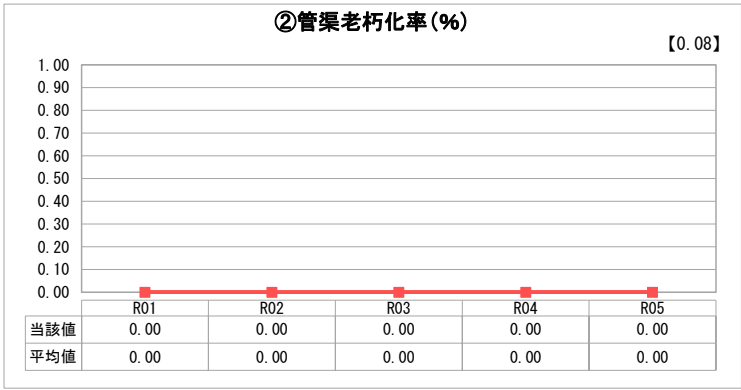
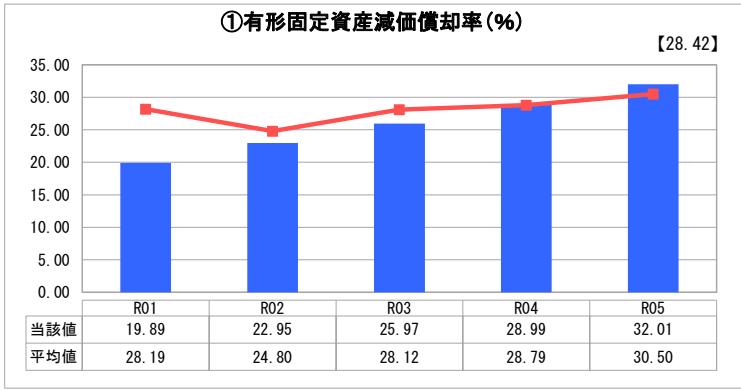
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
164,053	1,241.70	132.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,411	1.52	2,244.08

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・①経常収支比率は、100%を保持し、②累積欠損金は発生しておらず健全な経営状況にあると言える。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ・③流動比率は、企業債の償還金が大きく、全国・類似団体平均よりも低い水準にある。
- ・④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を上回っているものの、企業債の発行額を企業債償還額以下に抑制しているため、企業債残高は年々減少しており、今後も減少傾向で推移していく。
- ・⑤経費回収率は、全国・類似団体平均を上回っている。今後も業務の効率化に努め、適切な使用料水準の維持を図る。
- ・⑦施設利用率は、全国・類似団体平均を上回っているが、人口減少により処理水量は減少傾向にある。今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ・⑧水洗化率は、全国・類似団体平均を上回っている。

2. 老朽化の状況について

- ・①施設の老朽化が進行していることにより年々上昇している。全国・類似団体平均とほぼ同水準であり、更新を行うことで改善を進めていく。
- ・②管路老朽化率は、事業着手が比較的浅いため、法定耐用年数を超えた管渠はないことから0になっている。

全体総括

- ・経常収支比率は100%であり、概ね健全な経営状況にあると言える。しかし、企業債償還金の負担が大きいため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。
- ・今後、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれることから、流域下水道への接続を検討するなど、効率的な事業運営に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。